

ROYAL-TIMES



写真=4F庭園の朝顔 (2024年9月1日)

四季と二季

岡 聖史
2024年 9月 2日

残暑厳しい9月、夏の終わりを感ずるどころか、毎日30度を超える気温で大汗の毎日ではないでしょうか。8月末には台風10号も接近し、不安な日々が続きました。毎年過去最大を更新しているように感じます。

最近では「春」や「秋」と呼べる季節がなくなっているように感じます。梅雨は長雨でなく集中豪雨に変わりました。暑さが和らぐ前に寒さがやってきますし、寒さが引くとすぐに暑さがやってきます。もはや四季というよりも、二季しかないかのようです。

今月は夏野菜の収穫、嚙下りハを取り上げてみました。暑い季節に負けない様に皆さんの食欲に繋がればうれしいです。



写真=昼食の内容 (2024年9月5日)
天津盛り合わせ、あんかけ焼きそば等



写真= 4F庭園でとれたトマトと胡瓜 (2024年 6月19日)

夏野菜とれました

高橋 望
2024年9月11日

今年もロイヤルホームでは、夏野菜を栽培しました。植えたのはキュウリ、ゴーヤ、ミニトマト、オクラ、ズッキーニ、ロマネスコなど。しかし残念ながらキュウリとズッキーニはウリハムシの被害に遭い、ほとんど収穫出来ませんでした。かろうじて育ったキュウリも、猛暑の影響で曲がってしまい、満足いく出来栄にはなりません。

ミニトマトも青虫に食べられるトラブルがありました。アルコールと唐辛子で作った自家製の除虫スプレーで撃退し、なんとか収穫に成功しました。一方、ロマネスコはネキリムシに根をやられてしまい、思うように育ちませんでした。

しかし、ゴーヤとオクラは順調に成長し、大豊作となりました。特にゴーヤは苦味があ

るため虫がつきにくく、今年新たに作った棚に蔓を這わせ、元気よく成長しました。

収穫されたゴーヤは厨房でゴーヤチャンプルとして美味しく調理して、入居者の皆様に提供され大好評でした。

今年は猛暑の影響で、入居者様が外で作業する機会は少なかったものの、職員が収穫を担当し、立派に育ったゴーヤを見て笑顔が広がる瞬間はとても印象的でした。害虫には悩まされましたが、来年は対策をしっかり行い、さらに多くの野菜を育てたいと思います。

これから秋に向けてタカノツメの収穫があります。タカノツメは害虫の心配がほとんどありませんので、入居者様の笑顔が見られるのが今からとても楽しみです。ぜひご期待ください！

今月のトピック

#夏野菜とれました #食事とリハビリテーション #委員会活動報告(介護福祉士会議) #今季のレクリエーション

食事とリハビリテーション

岡 聖史
2024年 9月 7日

ロイヤルホームでは、言語聴覚士によるリハビリテーションを提供しています。特に嚥下リハビリテーションの需要が高く、ご本人やご家族の食事に対する期待は大きいですが、ホームでできることには限界があるため、ご入居者の状態に合わせてリハビリを進めています。

右の写真は、飲み込みに関わる重要な筋肉を鍛えている場面です。海外では「老嚥」と訳される診断名も存在します。加齢に伴い飲み込む力が衰えることや、誤嚥性肺炎という言葉は、今や世界全体で共通認識されているのではないのでしょうか。日本においても、私が「飲み込みのリハビリです」とお伝えすると、「肺炎にならないようにしないと」と返されるご入居者やご家族が増えているように感じます。

しかし、リハビリを行う全員が口から食べ物を摂取できるわけではありません。食べるという行為を手段とすれば、その目的は欲求を満たすことや肺炎を予防することといえます。一方で、食べる行為が苦痛になる場合や、肺炎のリスクを高める場合もあります。病状や病期に合わせてリハビリを進めていきます。



写真=嚥下の筋力トレーニングを実施している様子（2024年9月4日）



今季のレクリエーション

今月は、島忠へのお買い物、キンパ（김밥）作り、アイスクリームの試食会、夏まつり風のランチを行いました。女性の参加者が多いため、まるで婦人会のように和やかな雰囲気です。日々の音楽レクリエーションには男性の参加も見られますが、他者とのコミュニケーションでは、女性が中心となりがちですね。

← 写真=（2024年9月5日 キンパ作りの様子 具材をご飯の上に並べている場面）

委員会活動報告（介護福祉士会議）

屋敷 順子
2024年 9月 10日

介護福祉士会議は、係長2名、主任1名、副主任2名で構成され、6月より新体制で毎月一回実施しています。駆け出しではありますが試行錯誤しながら、ご入居者様の生活の質が向上するよう、また職員がより働きやすい環境で仕事ができるよう、現場の課題を抽出し業務の改善や標準化を検討しています。

議論を重ねていくと、職員間で考え方の違いが浮き彫りになります。日々意識している部分ではありますが、入居者様及び職員間のコミュ

ニケーションが大事な事であると再認識し日々改善に取り組んでおります。

4月より新入職員も増員し、教育委員と進捗状況を確認しながらステップアップを図っています。マニュアルに沿った指導をベースに介護技術の標準化や共通認識を増やしていくことで、一貫したサービスを実現し入居者様に還元できればと考えています。

（右写真=フラワーアレンジメントの様子）

VOICE

2024年 9月 9日

・みなさん初めまして、ベトナムから来ましたジャンと申します。来日して6年目になります。日本の料理や旅行、アニメが大好きです。中でもとなりのトトロが大好きで、日本でのあだ名は「メイちゃん」です。メイちゃんと呼んでもらえたら嬉しいです。日本語が下手なところもありますが、よろしくお願いします。



・皆様こんにちは。ロイヤルホームに勤務して数か月がたちました。先輩方の丁寧なご指導の下、日々邁進しております。まだまだ経験が浅いですが、入居者様の皆様に寄り添ったサービスをご提供できるように、全力を尽くしていきたいと存じます。皆様、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



振り返り

岡 聖史
2024年 9月 1日

加齢と共に温度調節の恒常性が鈍くなると言われています。「暑く感じない」＝「問題ない」と考えがちですが、「暑く感じない」＝「問題あり」と考えた方が長生きに繋がるようです。私も自分の親にエアコンをつけるように勧めても拒否的です。「エアコンは寒い」という応えが返ってくる事が多いです。このエアコンへの敏感な反応も脳の機能との関連が報告されています。外気と知覚と認知の関係は非常に複雑で夏を乗り越えるのも一苦労です。

